



窓から夢をひろげていきます

不二サッシグループ  
**CSR報告書 2020**



## 会社概要

商号	不二サッシ株式会社 (FUJI SASH CO.,LTD.)
本社所在地	神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 新川崎三井ビルディング
創業	1930(昭和5)年7月7日
設立	1969(昭和44)年5月1日
資本金	1,709,609,300円
従業員数	868名(連結 3,078名、2020年3月31日現在)

## 事業内容



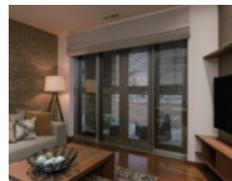
ビル建材事業

専門メーカーとして長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し、高い性能や品質と多様なデザインの要求に応えるビル用サッシ・カーテンウォールをご提案します。



フロントサッシ事業

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまでお客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。



住宅建材事業

リフォーム市場も視野に入れたエコアドやエコ面格子といったエコシリーズ商品の充実を図り、お客様のニーズに応えています。



リニューアル事業

ストック化が進むマンションやオフィスビルを中心とした様々な建築物にリノベーション工事を施すことにより、快適な居住空間の提供や資産価値の向上をお手伝いします。



ユニットハウス・  
防災関連事業

多目的な展開が図れるユニットハウスや防災備蓄倉庫、高性能機器収納箱(シェルター)まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップで揃えています。



光建材事業

独自設計のLEDモジュールを使った商品の開発を進めています。アルミ素材とLEDの融合により様々な商品の可能性を広げていきます。



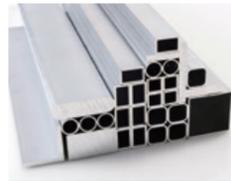
環境  
エンジニアリング事業

都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備、リサイクル・粗大ゴミ処理施設のプラントエンジニアリングから薬剤の製造・販売まで都市ゴミのトータル処理システムを提供しています。



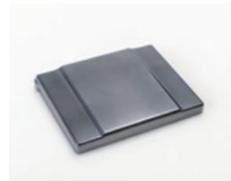
海外事業

フィリピン、ベトナム、台湾など東南アジアを中心に不二サッシブランド商品の展開や現地企業とのアライアンスを積極的に推進しています。



アルミ型材・  
アルミ加工品事業

一貫生産システムで、建材から半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機、日用品の部品まで軽金属のサプライヤーとして多様な商品を提供しています。



マグネシウム合金事業

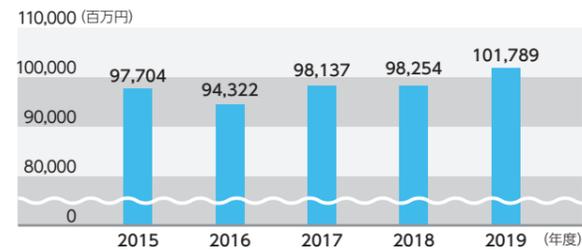
実用金属中最も軽量のマグネシウム合金の押出加工技術の研究・開発に取り組んでいます。高強度・高耐熱マグネシウム合金はあらゆる分野での事業展開が期待されています。

## 不二サッシグループ生産拠点

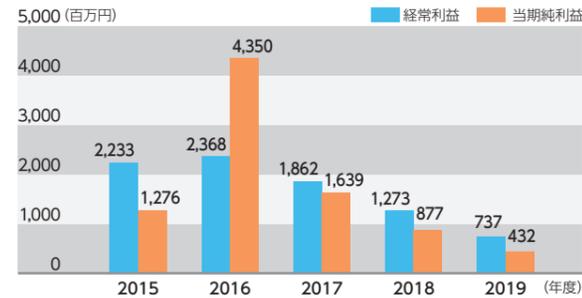


## データ

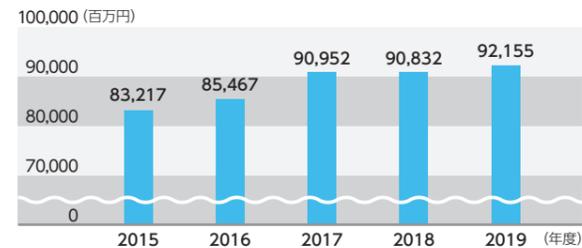
### 売上高



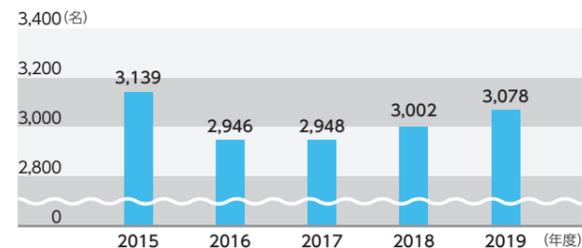
### 経常利益/当期純利益



### 総資産



### 従業員数



## 目次

会社概要	2
目次/編集方針	3
トップメッセージ	4
価値創造のあゆみ	6
マテリアリティ一覧	8
不二サッシグループの製品・サービス	10

## 特集「100年企業」を見据えた取り組み 12

E 環境	地球環境のために	
	環境マネジメント	16
	環境負荷の低減	16
	地球温暖化防止	17
	環境会計・マテリアルフロー	19
S 社会	お客様サポート	
	製品品質・安全への取り組み	20
	2019年度活動実績	20
	社会とともに	
	不二サッシグループ各社の活動	22
	従業員とともに	
	2019 TOPICS	24
人権の尊重	25	
人材育成	26	
ワークライフバランス	27	
労働安全衛生	27	
G ガバナンス	マネジメント	
	コーポレート・ガバナンス	28
	コミュニケーション	
	ステークホルダーとのコミュニケーション	30
第三者意見		31

## 編集方針

本報告書は、「環境省ガイドライン」を参考に不二サッシグループの事業内容および環境分野を含めたCSR(社会的責任)に対する基本的な考え方やその活動をステークホルダーの皆様へより広くご理解いただくことを目的として、毎年ホームページ上に公開しています。今年度の報告内容については、事業活動を通じたSDGsへの貢献を推進するためマテリアリティの特定を行うとともに、第三者試験機関相当として社外から建物の大規模な自然環境試験も受け入れているCW試験センターを特集に加えるなどの拡充を図りました。

WEBマークの項目は当社ホームページ上で詳細情報をご覧いただけます。

### ● 対象範囲

不二サッシ(株)および関連会社  
特定の範囲を示す場合は本文にその旨を表記しています。

### ● 対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

※一部対象期間以外の情報も含まれます。

不二サッシグループは設立以来、お客様との絆を大切にし、心を込めた商品の提供を心がけ、このたび2020年に創業90周年を迎えました。そしてこれから先、100年企業を目指し、すべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業」として存在感を発揮できるよう、変革に挑戦し、企業価値を高め、持続的成長を実現してまいります。

代表取締役社長

吉田 勉



## 創業90周年を迎えて

不二サッシグループは1930年に設立し、2020年度に創業90周年を迎えました。これまで長きにわたりご支援を賜りましたお得意様をはじめ、協力会社ならびに各団体、関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。

この節目にあたり、あらためて「窓から夢をひろげていきます」の経営理念のもと、「お客様との絆を大切にします」、「心をこめた商品を世に出します」、「活力あふれる気

風づくりに努めます」の3つの行動規範の実践を誓い、お客様に最適な形での価値の提供に努め、100年企業に向けてすべてのステークホルダーの皆様から「選ばれる企業」として存在感を発揮するために、果敢に変革に挑戦し、企業価値を高め、持続的成長を実現いたします。そして持続可能な社会の発展のため、事業活動を通じてSDGsへの貢献を果たしてまいります。

## 事業環境と新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により国内外の経済活動は停滞し、市場環境は厳しい状況で推移しています。そのような中、不二サッシグループは社会情勢・市場環境の変化をグループ全体の危機感として共有するとともに改革の契機として捉え、課題解決のスピードを劇的に上げていくパワーに転化させるべく取り組んでいます。

新型コロナがもたらした新たな日常は、テレワーク、Web会議などの普及によるビジネススタイルの変革、DX化への加速を促しており、当社グループにおいても

働き方の改革を積極的に推進しています。

また、不二サッシグループがこれまで培ってきた技術力を活かし、感染症防止対策に貢献するべく、飛沫ガード・飛沫スクリーンを開発、販売を開始しました。これからも不二サッシグループは、「生産性向上」「営業強化」により、「顧客の創造」を実現していくことを基本方針とし、収益力強化、強靱な事業基盤の構築という課題を確実に解決することで、100年企業を見据えた基盤づくりと社会への貢献を実現していきます。

## 100年企業への取り組み

### 光建材事業

光建材事業では、異業種との協業により実現した、インテリアデザインの表現力を高める「アルビームプラス光壁」や、窓や壁面に色や映像の演出を加える「アルビームムーブ」を新たに投入。建材と照明を融合させるという商品コンセプトにより、夜景観デザインに新しい地平を開拓するとともに、インテリア市場にも光建材を展開し、広く存在感を発揮していきます。

### 試験研究施設

当社が創業以来培ってきた技術力の根幹には、国内最大のカーテンウォール試験設備をはじめとして、基礎実験や性能試験等を行う充実した試験研究施設を有している強みがあります。

年々自然災害の脅威が増し、その備えがますます重要視される中、当社はこれらの設備を活用して自社開発製品の技術的検証、産学官との共同研究、さらには社外からの委託試験も行っており、これからも最適な形での価値の提供に努め、安心して暮らせる居住環境の実現を追求していきます。

### グループガバナンス強化

2020年末に発覚した当社子会社における不適切な会計処理につきましては、株主の皆様、お客様をはじめ関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。この問題を踏まえ、再発防止策およびグループガバナンス、内部統制機能強化を喫緊の課題と捉え、真摯に課題解決に取り組んでいます。

不二サッシグループは今後も、ステークホルダーに対し責任ある経営体制の確立に努め、ガバナンス体制をより強固にし、企業体質の一層の強化を図ってまいります。

# 変革への挑戦、 選ばれる企業へ

私たちは1930年の創業以来、サッシの製造事業を通じてビルや住宅における快適な居住環境を追求してきました。特に1958年に国内で初めて製造販売を開始したアルミサッシ分野では、一貫生産のアルミサッシ・カーテンウォールのパイオニアとして国内外のビッグプロジェクトに参加し、都市景観の創造に寄与してきました。

そして今、80年以上の歴史の中で培った技術力と提案力を軸とした最先端の研究開発力、安定した生産・供給力を基盤に、アルミサッシ・カーテンウォールの基幹事業をはじめ、リニューアブル事業からアルミ型材・加工品事業、環境エンジニアリング事業、海外事業、さらには新素材開発まで、未来を見据えて新たな事業を積極的に展開し、グローバルエンジニアリング企業を目指しています。



1930 1970 1980 1990 2000 2010 2020 2030

改革 躍進 創造

**1930**  
 鋼製建具の製造を目的に(株)不二サッシ製作所設立(旧 不二サッシ工業(株))

**1975**  
 ● サッシの表面処理工場で発生するアルミスラッジを有効利用したヘドロ汚泥の固化材「アルサイト」を開発、営業開始  
 ● ユニットハウス「アムコ」発売

**1957**  
 米国フェントロン社と技術提携しアルミサッシの技術を導入

**1958**  
 日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始

**1961**  
 日本で初めて住宅用アルミサッシ「片引きFK」発売

**1964**  
 日本初の超高層建築「ホテルニューオータニ」竣工  
 当社のカーテンウォール工法が採用される

**1965**  
 千葉県市原市に千葉工場完成

**1968**  
 大阪府高槻市に大阪工場完成

**1969**  
 ● 東洋ハウジング(株)設立(旧 不二サッシ(株))  
 ● 九州不二サッシ(株)設立

**1981**  
 不二サッシ工業(株)、不二サッシ販売(株)、不二サッシ(株)(旧 東洋ハウジング(株)) 3社合併により、不二サッシ(株)として新発足

**1990**  
 経営理念「窓から夢を」制定

**1992**  
 ● 経営理念を主題とするシンボルマークを制定  
 ● 東京証券取引所市場第二部に株式上場

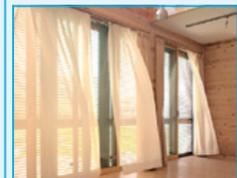
**1994**  
 不二サッシフィリピン社設立

**1997**  
 ● 千葉カーテンウォール試験センター稼働  
 ● ISO9001 認証取得

**1999**  
 (株) 荏原製作所と提携し、ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始

**2001**  
 ● 全国 22 販売会社を全国 6 広域販売会社に再編  
 ● ISO14001 認証取得

**2002**  
 「エコアマド」発売  
 2002年度グッドデザイン賞受賞



エコアマド

**2004**  
 九州不二サッシ(株)を完全子会社化

**2006**  
 (株) 不二サッシ九州を承継会社とし「九州地域製販一体新会社」を発足

**2007**  
 九州不二サッシ(株)を承継会社とする資材統合新会社を発足  
 これに伴い社名を不二ライトメタル(株)に改める

**2009**  
 文化シャッター(株)と「資本および業務提携に関する基本合意書」を締結

**2012**  
 面発光体LEDを採用したデスクライト「アルエア」発売



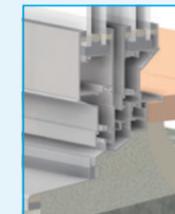
LED商品  
アルエアシリーズ

**2015**  
 ● 不二ライトメタル(株)  
 ● マグネシウム合金を使った医療機器開発を始動  
 ● 折り畳み式ユニットハウスの接合部で業界初の技術評価を取得



構造認証ハウス

**2016**  
 ● 台湾に合併会社「不二太天股份有限公司」を設立  
 ● 次世代ハイグレードサッシ「FNS-II 70」発売  
 ● 二軸破砕機の販売を開始



次世代ハイグレードサッシ「FNS-II 70」



二軸破砕機

**2017**  
 ● 不二サッシベトナム社設立  
 ● フィグラ(株)、(株)遠藤照明との異業種コラボレーションによるこれまでにない建築ファサードの提案

**2018**  
 アジアニッカイ(株)、北海道住宅サービス(株)、高槻ダイカスト(株)  
 新たに不二サッシグループに

**2019**  
 ● 日本防水工業(株)、日本スプレー工業(株)  
 新たに不二サッシグループに  
 ● 光建材「ALBEAM Plus」を発表



アルビームカーテンウォール



ホテルニューオータニ

# マテリアリティー一覧

不二サッシグループは企業理念「窓から夢をひろげていきます」の考えのもとに、100年企業に向けてすべてのステークホルダーの皆さまから「選ばれる企業」として存在感を発揮するために、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

## SDGsへの貢献

近年、持続可能な社会の実現のために政府・企業・関係者のすべてが自主的に取り組む国際目標SDGsの広がりによって、環境と社会を重視する経営への動きが加速しています。このSDGsを経営戦略の重要事項と捉えて社会情勢や事業環境を踏まえ、環境 (Environment) ・社会 (Social) ・ガバナンス (Governance) の観点で、不二サッシグループが取り組むマテリアリティー (重要課題) を整理・特定しました。今後はマテリアリティーごとに優先順位と具体的な目標を定め、社会課題解決と経営戦略の共通価値の創造を目指したCSRを事業活動を通じて推進していきます。



※ 比較のため前年度CSR報告書にて評価していた項目のみ達成度を記載しています ☀️ 達成 ☁️ 未達成項目あり

マテリアリティー		活動項目および目標	2019年度実績	達成度	対応するSDGs	掲載ページ	
E 環境	気候危機への対応	消費エネルギーの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>断熱・省エネ関連商品開発 (CO<sub>2</sub>削減商品の開発を推進する)</li> <li>生産量(押出+電解)当たりの電力消費量およびCO<sub>2</sub>排出量原単位を前年度比1.0%改善する</li> <li>各職場での節電の励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>断熱商品 FP-AT70 / FNS-II70CF / RE-III改装サッシ 内倒し型換気框 / FNS-II100R / FNS-II100CF / フェイシングフロント 防火設備 / インナー防火スクリーン / FNS-II70D</li> <li>省エネ商品 アルビームカーテンウォール トランザムタイプ</li> </ul>	☀️	3 気候変動への対応, 9 産業と資源効率, 11 持続可能な都市とコミュニティ	12,13, 18
		再生可能エネルギーの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>メガソーラーシステムの運用による安定的な再生可能エネルギーの創出 (通期発電計画の達成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力消費量原単位: 前年度比1.5%増加</li> <li>CO<sub>2</sub>排出量原単位: 前年度比2.8%増加 ※ 電力使用量: 前年度比2.6%削減</li> <li>従来の施策を継続 (冷暖房使用抑制 / デマンド監視運用 / 照明LED化 等)</li> </ul>	☁️	12 持続可能な消費と生産	17-19
	循環型社会の形成	環境エンジニアリング事業による貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛灰処理プラント、リサイクル粗大ごみ処理プラントの設計・製造・販売</li> <li>廃棄物の重金属固定剤の製造販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラインेटR (植物原料・生分解性の粉塵防止剤) の販売</li> <li>キレート剤 (重金属の溶出防止剤) の販売</li> </ul>	—	6 清潔な水と衛生, 12 持続可能な消費と生産, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさを守ろう	11
		資源の有効活用およびゼロエミッションの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量の削減 ● 廃棄物のリサイクル率97.0%以上</li> <li>新設備・技術導入による省資源活動</li> <li>地下水膜ろ過システムの導入による上水使用量の低減および地域貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物排出量: 前年度比9.0%削減 ● リサイクル率: 98.4%</li> <li>図面および仕様チェックによる、過剰設計の防止や運送効率への配慮</li> </ul>	☀️	12 持続可能な消費と生産	16
		製品含有の化学物質削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>PRTR法等に対応するSDSを確保 ● 部品、部材の安全性の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発商品に使用する材料のSDSを確認し、指定化学物質の使用を回避</li> </ul>	☀️	3 気候変動への対応, 12 持続可能な消費と生産	16
	サプライチェーンマネジメント	グリーン調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン調達に向けた部品・材質への切替え</li> <li>サプライチェーンの環境活動向上への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーンの環境活動調査 ● 樹脂部品の材質刻印の推進</li> <li>各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進</li> </ul>	☀️	12 持続可能な消費と生産	16
物流におけるサステナビリティ		<ul style="list-style-type: none"> <li>全社での物流改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社テーマとして「物流改革プロジェクト」発足 ● 「ホワイト物流」推進運動 自主行動宣言</li> </ul>	—	12 持続可能な消費と生産, 13 気候変動への対応	15	
S 社会	人権の尊重および従業員満足度の向上	人権デューデリジェンスおよびダイバーシティ&インクルージョン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメント対策 ● 多様な働き方の支援 ● 育児支援制度の活用推進</li> <li>女性従業員の採用・育成・定着 ● グローバル人材の活躍推進</li> <li>障がい者就労支援活動の推進 ● 定年後再雇用の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハラスメントの防止: 社内報およびコンプライアンス教育による周知</li> <li>育児休業利用者: 5名 (前年度比増減なし) / 短時間勤務利用者: 10名 (前年度比増減なし)</li> <li>女性活躍プロジェクト: 社内インターンシップ実施 ● フィリピン・ベトナムなどグローバル社員の育成</li> <li>障害者雇用率: 2.39% (前年度比0.06%増) ● 定年後再雇用者数の推移: 20名 (前年度比33%増)</li> </ul>	—	5 誠実な労働と働き方, 8 産業と資源効率	24-27
		人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア開発のための取り組み ● 人材育成の強化・拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信教育による自己啓発促進 ● 公的資格取得支援</li> </ul>	—	4 質の高い教育をみんなに	26
		従業員の健康促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員の健康のための取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前立腺検査受診率: 93% / 乳がん検査受診率: 58% / 子宮がん検査受診率: 41% (2019年度より実施) / 人間ドック補助利用者: 本人36名、家族5名</li> </ul>	—	3 気候変動への対応	27
	公正な事業慣行	サプライヤーの労働環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホワイト物流」推進運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ホワイト物流」推進運動 自主行動宣言: 運転者の労働環境改善の推進や、働き方改革に取り組む物流事業者の活用</li> </ul>	—	8 公正な働き方	15
	お客様サポート	製品品質・安全への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品安全行動指針に基づくCS活動推進</li> <li>製品事故・品質異常の対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPに消費者への注意喚起を掲載 (台風や暴風雨時の備えについて)</li> </ul>	—	11 持続可能な都市とコミュニティ	20,21
		持続可能な暮らしとまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニューアル事業の拡大 ● 都市防災・インフラBCP強化への貢献</li> <li>健康・福祉の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CW試験センターにおける産官学との共同研究や社外からの自然環境模擬試験等の受け入れ</li> <li>省エネや換気機能に優れたウィンドウリフォームシリーズの拡販</li> </ul>	—	3 気候変動への対応, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 17 気候変動への対応	10,11, 14
コミュニティ参画および発展	社会貢献活動・文化活動などの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所周辺地域との連携による社会貢献活動 ● 環境貢献活動への支援・参加</li> <li>各種学校との連携による学生のスキルアップ</li> <li>音楽・スポーツ・芸術などの活動の支援 ● 被災地等の支援活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国事業所における清掃・防災活動など</li> <li>消防本部主催の救命講習を受講</li> <li>自社製品の子供神輿にて地元の祇園祭に参加</li> </ul>	—	17 気候変動への対応	22,23	
	企業統治	コーポレート・ガバナンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性評価 ● コンプライアンスの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性評価の実施 ● コンプライアンスマニュアルVer.2の発行</li> </ul>	—	9 誠実な労働と働き方, 16 公正な働き方, 17 気候変動への対応	28,29
G ガバナンス	コンプライアンス	法規制や社会規範の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス教育の充実</li> <li>水質、大気、土壌、騒音、有害物質等の法規制・条例、その他規制の遵守状況の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境教育を含めた、法遵守のためのコンプライアンス教育の実施</li> <li>関係会社への法遵守環境監査実施 ● 2019年度環境法令違反件数: 0件</li> </ul>	☀️	14 海の豊かさを守ろう	16,29
	コミュニケーション	ステークホルダーとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダーとの対話の推進 ● ステークホルダーとのコミュニケーション機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉事業所ショールームの運営 ● アルビーム通信の発行</li> </ul>	—	17 気候変動への対応	30
	成長戦略・事業継続計画 (BCP)	技術力・危機管理能力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術力・施工力の強化 ● 製品の安定供給 ● マグネシウム事業の推進</li> <li>危機管理・対応能力の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子タグを用いた建設部材の一元管理の実証 (他社協働) ● 電子情報セキュリティ教育</li> </ul>	—	9 誠実な労働と働き方, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 13 気候変動への対応, 17 気候変動への対応	11,15
	グループの成長・発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外事業の再構築</li> <li>国内外企業の株式取得、業務提携</li> <li>製品・サービスの受賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本防水工業 (株) グループの株式取得</li> <li>主な受賞 日本産業広告賞 / アルビームプラス 光壁 グッドデザイン賞 / ウィンドウリフォームシリーズ 日本アルミニウム協会賞 / マグネシウム合金製の冠動脈ステント 国際マグネシウム協会 優秀賞</li> </ul>	—	17 気候変動への対応	10, 12,13	

グループのコア事業

ビル建材事業

1 カーテンウォール



カーテンウォールにおける省エネ技術として、エコロジーをキーワードに、標準的なカーテンウォールとオプション部材の組み合わせによる多彩なラインナップを用意しています。

ビル建材事業

2 フロントサッシ



アルビームフロント (LED組み込み商品) など

オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまで、お客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。

防災・災害・感染症対策

ビル建材事業

3 フロントサッシ



Fフロント 水防タイプ

自動ドア部にポリ塩化ビニル製の止水シートを標準装備。止水シートが水圧でサッシ・ガラスに密着し、土のうの約10倍の止水性能を発揮します。

アルミ形材・アルミ加工品事業

4 クロススクリーン



用途は医療用を主としていますが、災害時等、様々な用途で使用できるマルチタイプです。

ユニットハウス・防災関連事業

5 ユニットハウス



普段 (Stock) 災害時 (Toilet)

災害救護多機能倉庫 (Stock&Toilet)



防災備蓄倉庫 (フジストッカー)

オフィス、現場事務所、仮店舗、収納庫など多様なニーズに対して、豊富なオプション類で柔軟に対応します。防災倉庫にはソーラーシステムユニットが加わり、備蓄品の長期保存だけでなく、災害時の拠点としての有効利用も可能になりました。

不二サッシリニューアル(株)

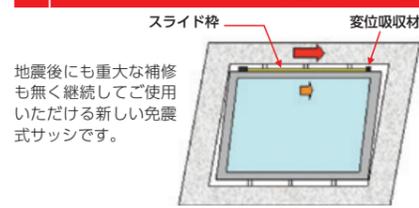
6 耐震補強枠



アルミニウム合金耐震補強枠 窓周りや壁面に補強枠を取り付けるだけで、建物の耐震性能を向上させます。

ビル建材事業

7 免震式サッシ枠



地震後にも重大な補修も無く継続してご使用いただける新しい免震式サッシです。

2020年新発売 特集P13参照

アルミ形材・アルミ加工品事業

8 飛沫感染対策シリーズ



飛沫ガード



飛沫スクリーン

アルミフレームを使用しており、軽さや耐久性などに優れた間仕切りです。テーブルなどの上に置いて使える「飛沫ガード」と床に置いてより広い範囲をカバーする「飛沫スクリーン」を用意しています。

地域貢献

不二サッシリニューアル(株)

9 リノベーション工事



スチールサッシ、アルミサッシ、カーテンウォール、外壁アルミパネル、手摺などの取替

環境エンジニアリング事業

11 粉塵防止剤



フライネットR (植物由来)

主原料に植物由来の有機性資源であるバイオマスを使用しています。

ビル建材事業

10 ゴミ集積ボックス



クリーンボックス

ゴミの散乱を防ぎ、収集所を清潔に保ちます。清掃やゴミ袋の出し入れも簡単で、通りの景観も損ないません。

アルミ形材・アルミ加工品事業

12 サイクルラック



フィットスライド

「自転車が詰まっていて出し入れしにくい」「大切な自転車を壊したくない」そんな悩みや要望を、フィットスライドが解決します。



省エネ貢献

ビル建材事業

13 次世代型ハイグレードサッシ



FNS-II 70

高層マンションで求められる、より高い耐風圧性能、水密性能をクリアし、さらに断熱性能、遮音性能を発揮するハイスペックな商品です。

住宅建材事業

14 住宅サッシ



ウインドウリフォームシリーズ 特定得意先向け高断熱サッシ

角度自在のルーバーがプライバシーを守りながら室内にこもった空気をしっかりと換気。「玄関ドア用ルーバー網戸」を設置した玄関から、「エコアマト」や「エコ面格子」などを設置したリビング・キッチンなどへ、住まいに風の通り道をつくりだします。

LED事業

15 水銀灯型LEDランプ



工場・高天井に最適。水銀灯も省エネ・長寿命のLEDに。

アルミ形材・アルミ加工品事業

16 ソーラー架台



JIS C 8955の基準に沿った設計で、要求される強度を満たしつつ、軽量化・施工性を考慮した形状になっています。

環境貢献

環境エンジニアリング事業

17 ダイオキシシン類低温加熱分解装置



粗大ごみや不燃ごみ、ペットボトル、廃プラスチック等それぞれのごみに合わせた処理システムの設計・施工およびエンジニアリング全般をお引き受けします。

18 飛灰処理施設



混練成形機

19 リサイクル処理設備



二軸破砕機

障がい者支援

マグネシウム合金事業

20 競技用車いす



熊本出身の選手と連携して開発した「made in Kumamoto」のマシンです。

不二サッシグループは2020年に創立90周年を迎えました。

2017年度から2020年度までの中期経営計画「創造」の基本方針は、創業90周年へ向けてその先の100年企業を見据え、企業価値を高め、存在感を発揮し、選ばれる企業を目指すための礎を築くことです。

## 「100年企業」を見据えて

### ALBEAM PLUS 光壁 ■ 2019年度グッドデザイン賞を受賞

「アルビームプラス 光壁」が「2019年度グッドデザイン賞」を受賞しました。「アルビームプラス」は“建材と照明の融合”をコンセプトとした商品シリーズであり、「アルビームプラス 光壁」は、建物のエントランスなどで多用されるガラスによる光壁を、従来実現できなかった薄さで均一に発光させる新方式の製品です。従来の照明器具を組み込んだ光壁は壁面とガラス面のスペースが概ね300mm程度必要でしたが、独自設計のLEDパネルを使用することで極薄の壁厚に仕上げられ、有効床面積を最大限に得られるという大きなメリットが生まれました。

「アルビームプラス 光壁」では、協業する日亜化学工業(株)が開発した超広配光LEDパネルを連結できるように設計したことで、大きな壁面でも均一に発光し、壁面とガラス面を35~65mm程度の最小限寸法で設置することが可能となりました。ガラス面についても、協業するフィグラ(株)の加工技術により、和紙やフィルム・ファブリック・ファイバーなど、多様な素材を合わせガラスとすることや、表面もエッチング加工によりマット仕上げやオリジナルデザイン仕上げとすることで、様々な表情を持たせることができます。

今後は天井面や床面など、省スペースで設置可能な光建材としても活用が考えられます。



光壁の店舗施工例

## “建材と照明の融合”

### 課題を解決し新しい提案を可能にする商品開発

### ALBEAM SYSTEM

#### ■ 令和元年度日本アルミニウム協会賞「開発賞」を受賞

「建材とLEDを融合させた外装システム建材(ALBEAM SYSTEM)」が「令和元年度日本アルミニウム協会賞」において「開発賞」を受賞しました。

近年の都市開発において建築照明は都市の景観に欠かせないものとなっており、特に欧米においては都市の夜間景観が重要視されています。建築の壁面や窓廻りに照明器具を組み込む際、これまでは個別物件対応として板金等の造作で対応してきましたが、課題として、照明器具につきものである配線の処理方法や照明器具の交換を考えたメンテナンス方法、照明から発せられる熱の放熱処理、建築時の工事区分などがありました。こうした課題を解決するべく、独自設計したLED光源ユニットを建物の外壁に取付くサッシやカーテンウォールに組み込んだ商品の企画・開発を行いました。

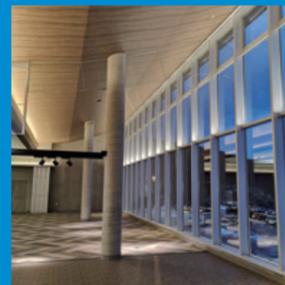
建材メーカーならではの視点から、街並みの景観を構成する商業ビル、店舗といった建築物の個性と魅力を高めると同時に、建築計画や照明計画を融合させた考えのもと、従来のビル外装に一体感のある計画的な夜間景観をもたらす商品の開発にこれからも取り組んでいきます。



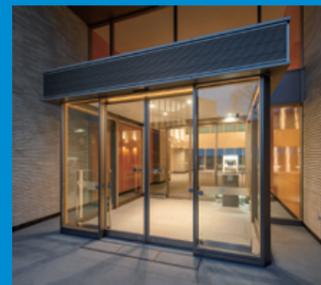
スマートな光のラインを演出する  
アルビームラインタイプ



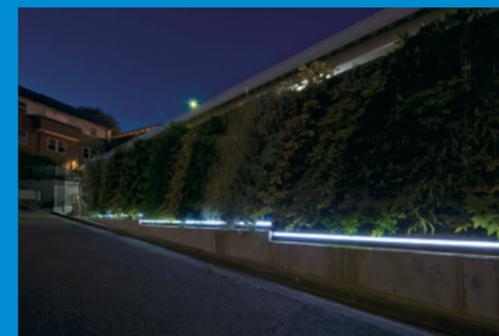
光のグラデーションを演出する  
アルビームブラケットタイプ



3種類の照射角度により光の演出が可能な  
アルビームトランザムタイプ



柔らかな間接光でサッシフレームを縁取る  
アルビームフロント



途切れることのない様な光で防犯に配慮した環境を提供



建物のファサードにダイナミックな映像表現が可能

### ALBEAM SYSTEM LINE TYPE

#### ■ 第14回キッズデザイン賞を受賞 2020年度

近年、住民交流の希薄化や空き家の増加に伴い、住宅街においても犯罪に巻き込まれる可能性が危惧されており、犯罪抵抗力の高い街づくりが求められています。

「ALBEAM SYSTEM LINE TYPE(アルビームシステムラインタイプ)」は2020年8月、「第14回キッズデザイン賞」を受賞しました。壁面や庇等に組み込むことで防犯に配慮した光環境を得ることができる商品として、従来の煩雑な照明計画の簡易化が望めます。また、アルミニウム押出技術により鋭角部を無くし、乳白色のポリカーボネート板でLEDからの光を柔らかく拡散するなど、好奇心旺盛な子どもに対しても安心・安全な設計になっています。

不二サッシはこれからも安心・安全に配慮し、子どもたちの創造性と未来を拓く、心をこめた商品を開発していきます。

### ALBEAM MOVE

#### ■ 2020年度グッドデザイン賞を受賞 2020年度

建築と照明を一体化させる「建築化照明」の流れの中で、外装に様々な照明制御や映像技術を加える動きが進んでいます。「アルビームムーブ」は、サッシやカーテンウォールといった外装建材に内蔵したフルカラーLEDを制御し、建物の窓や壁面などに色や映像の演出を加えます。制御システムを屋外に設置可能な建材一体化としたことで設計施工を省力化し、さらに建築物にデジタル表現を取り入れやすくすることで、街の夜間景観の向上・建物への付加価値の創造に寄与します。

## 「100年企業」を見据えて

### 世の中の変化と顧客ニーズに応える製品

#### 飛沫感染対策シリーズ 2020年度

不二ライトメタルは2020年、これまで培ってきた技術力を活かして感染症防止対策に貢献するべく、「飛沫感染対策シリーズ」を発売しました。

受付やデスクの間仕切り用等にテーブルなどの上に置いて使える「飛沫ガード」は書類の受け渡し用の開口部のある「開口部ありver.」と開口部のない「開口部なしver.」、会議の発表や学校の授業に対応する大型の「飛沫スクリーン」はパネルが上面1枚の「シングルタイプ」と上下2枚の「ダブルタイプ」がそれぞれラインナップ



使用例

されており、いずれの製品もアルミフレームを使用して軽さや耐久性などに優れているだけでなく、長期間衛生的に使用するためにパネルは交換可能であり、オーダーサイズの作成にも対応しています。



飛沫ガード



飛沫スクリーン

「100年企業」を見据えて

安心して暮らせる居住空間の実現を追求

カーテンウォール試験センター

不二サッシグループは長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使して様々なプロジェクトの要求に応えるビル用建材を提案しており、その技術力の根幹には基礎実験や性能試験等が可能な充実した試験研究施設があります。中でも試験研究設備の顔とも言えるのが千葉事業所内にあるカーテンウォール試験センターです。

国内最大のカーテンウォール試験設備を持つ当試験センターは1997年11月の稼働開始以来、日本全国の大型プロジェクトに参画し、カーテンウォール実験を80件以上行ってきました。近年は地球温暖化による影響で、我が国においても毎年記録的な豪雨や大型台風が発生し河川の氾濫や土砂崩れなど各地に多くの被害をもたらしているだけでなく、地震や火山の噴火なども多発しており、自然災害への備えはますます重要視されてきています。

そのような状況の中、人々が安心して生活できる持続可能で安全な場所を提供するため、当試験センターでは自社製品の開発にとどまらず、産学官との連携による研究や、さらには社外からの委託試験にも門戸を広げています。

不二サッシは今後も、様々な脅威や変化に適応するために最新のテクノロジーを取り入れながら試験技術を充実させ、地域社会のレジリエンスを向上させる建築物の開発など社会活動にも積極的に参加していきます。



層間変位試験装置  
実物大のカーテンウォールを様々な変異させ、建物の揺れに対する変形試験を行う



動風圧試験装置  
圧力制御や散水により、水密・気密・耐風圧などの性能試験を行う



暴風雨試験装置  
風や水を直接負荷させ、耐風圧性、水密性、音鳴りなどを確認する



日射試験装置  
赤外線ランプを照射し、温度上昇による変形試験を行う



試験センター

建設部材の一元管理 ■ RFIDの活用

当社の重要顧客である(株)長谷工コーポレーション様は、集合住宅に特化した建材部材にRFIDを採用することで、設計から施工、竣工までを一元管理するとともに、施工中の各部材の状況管理や引き渡し後の部材の補修、修繕の対応に活用するなど、総合的な品質向上と施工費用の削減につなげています。

当社としても、部材の種類や数量の管理が容易になることで作業の軽減につながり、製品状況をオンライン確認することで関係者間での進捗状況を共有することができます。また、タグにQRコードを印字し、製品の取扱説明書や補修部品の情報をリンクさせることで、エンドユーザーが簡単に情報を入力することができます。

Radio Frequency Identification (RFID)

ID情報が記録された「RFID」から、無線を利用し非接触でデータを読み書きする自動認識技術。製品に貼付したタグを、製造から搬入・取り付けの過程で読み取り、記録することで製品の追跡が可能になるほか、その状況を関係者で共有することで生産性の向上を図ることができる。



タグの貼付状況



製品搬入時の読み込み



取り付け状況の確認



ハンディターミナル



データの読み取り

生産性と品質の向上

課題改善と効率化で成果を出す

サッシ製品の生産・出荷・棚卸業務を大幅に効率化

■ ハンディターミナル活用

関西不二サッシは、ビルサッシ事業と住宅サッシ事業の2事業体制で展開しています。住宅サッシ事業では約3年前から新製品が増加し、生産加工工程における作業の効率化が課題となっており、生産効率化を進める上で作業担当者の選別判断が障害となっていました。また生産性向上に限界があり、さらに出荷管理において納品先のオーダーと異なる誤出荷のリスクもありました。

そこで2018年9月にハンディターミナルを活用した情報管理システムの構築に着手し、2020年4月には、システム展開を棚卸情報や金具指示書のハンディターミナル画面表示まで広げ、大きな成果を生み出しました。

今後はサッシ本体にも展開する予定で、さらに生産性・品質ともに向上するよう努めます。

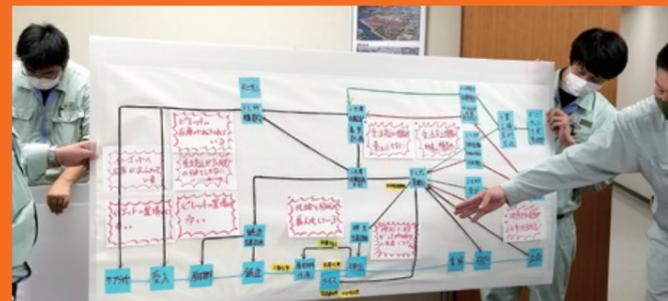
物流改革

■ 不二ライトメタル「場内物流改革プロジェクト」

2019年度下期に発足した「場内物流改革プロジェクト」は生産性向上を目的として、場内物流の将来像「あるべき姿」に向け、活動を進めています。改善活動はVSM(バリューストリームマッピング)手法を用いて、「もの」と「情報」の流れを視覚化し、作業工程におけるムダの発見と阻害要因となる問題の改善に取り組んでいます。

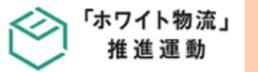
改革のポイントは、製品シリーズに注目したアルミニウム型材の在庫低減と、表面処理後の物流変更です。在庫と中間仕掛の最適化に加え、運搬距離短縮と運搬車両数低減による物流の効率化により、CO<sub>2</sub>排出量を削減させ、環境負荷の低減を実現していきます。加えて、デジタル技術を積極的に採用した、無人化設備やデジタル認証等による最新技術の導入を検討しています。

2023年度には、東日本事業部の生産部門各ラインへ最新技術によるアルミニウム型材の安定供給を可能とし、省エネルギー、省資源の環境配慮型生産ラインの構築を目指し、メンバー全員でアイデアを出し合い改革意識を高め活動を進めていきます。



■ 「ホワイト物流」推進運動への参画

ホワイト物流推進運動とは、トラックドライバーの長時間労働の常態化を解消し、1)トラック輸送の生産性の向上、物流の効率化、2)女性や60歳代以上の運転者も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現を目指して、国土交通省、経済産業省、農林水産省が中心となって各企業に参画を呼び掛けている運動です。2019年3月より始まり、2020年12月末現在で1,136社が参加しています。不二サッシグループも2019年度、自主行動宣言を公表し運動に参画しました。



参画に当たりグループの物流企業である不二倉業と何度も議論を重ね、下記の取組項目を採択しました。現在グループ内のみならず他の参加顧客についても本運動の理念に基づき種々の提言を行い、物流を取り巻く環境は次第に良化されています。今後とも関係各位の理解と協力をいただきながら輸送生産性の向上、物流の効率化に取り組んでいきます。

自主行動宣言 取組項目

1. 物流の改善提案と協力
2. 運転以外の作業部分の分離
3. リードタイムの延長
4. 働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用
5. 荷役作業時の安全対策

## 環境マネジメント

### 不二サッシグループの環境方針

環境基本方針・行動指針に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を導入して環境保全活動を進めています。製造・加工段階での対策だけでなく、設計部門での環境配慮設計や施工部門での環境配慮、各部門でのペーパーレス化などを推進し、継続的な改善で経営効果に結び付けていきます。

#### ■基本方針

不二サッシグループは、環境との調和を“経営理念”実現の課題の一つとして、すべての事業活動において、一人ひとりが環境への優しさを創造して行動し、継続かつ積極的に改善を努め、「環境配慮型企業」をさらに進化させて「循環型企業」を目指す。

#### ■行動指針

不二サッシグループは、事業活動、製品及びサービスにおける全事業領域の活動として、以下の行動指針に従い環境保護に取り組む。

1. 環境保全活動による継続的改善と汚染の予防を図る
2. 法規制及び同意したその他の要求事項を順守する
3. 省エネルギー・省資源及び新エネルギー商品を開発する
4. 購入、製造、物流等の事業活動に伴う各段階で、省エネルギー・省資源及び3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進する
5. 化学物質による環境汚染を防止する
6. 環境教育と啓蒙活動を実施する

### サプライチェーンに対する取り組み

当社はサプライヤーを事業活動における重要なビジネスパートナーと考え、公平公正・共存共栄を基本として相互信頼関係を築き、ともに発展していくことを目指した調達活動を展開しています。品質・納期・コストについては、当社の基準による評価点90点以上のサプライヤーの割合が前年度の17%から22%へと改善、EMS構築済のサプライヤー数も13%増加しており、引き続きパートナー企業と協働して更なる活動の向上を図っていきます。

また、持続可能な消費と生産へ向けた活動として、「樹脂部品の材質刻印の推進」と「各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進」の取り組みを継続しています。

### 環境教育

環境マネジメントシステムの理解と、環境意識の向上を図るため ①全従業員を対象とした一般環境教育 ②専門知識を必要とする従業員に対する専門環境教育を実施しています。また、優遇制度を設け、環境関係の公的資格取得を推進しています。

### 法規制遵守

環境法規要求事項一覧表に基づき点検・管理を行っています。特に監視ポイント毎の現場点検、公害防止管理者の職務改善、環境教育およびコンプライアンス教育に重点を置いた改善活動を行っています。

### 緊急事態への対応

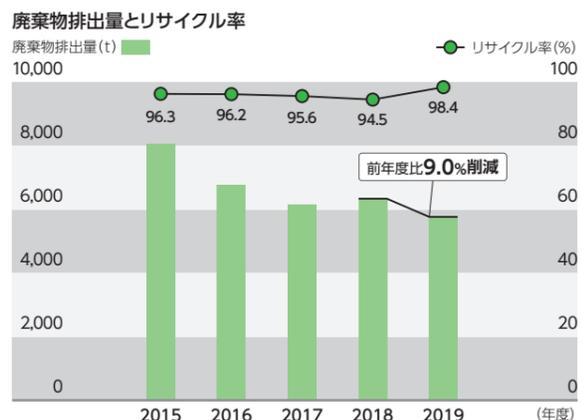
化学薬品や燃料の流出など、工場外への重大な環境汚染を未然に防ぐため、緊急事態対応マニュアル・手順書を作成し、手順書に基づく訓練を行っています。

## 環境負荷の低減

### 廃棄物排出量の削減と3Rの推進

産業廃棄物排出量は、5,763tと前年度比9.0%減となりました。また、再利用・再資源化分が5,669t、リサイクル率は98.4%となりました。今後も、廃棄物排出量を削減した中で、ゼロエミッション\*を達成できるように3R運動に取り組んでいきます。

\*ゼロエミッション：廃棄物のリサイクル率97%以上。2017年度は、委託先廃棄物処理業者撤退によりリサイクル率は悪化。



### 化学物質の管理

生産段階で使用される化学物質の危険有害性や取り扱い・保管上の注意および緊急時の応急措置等をSDSで把握し、保管・管理を徹底しています。

### PCBの管理

PCBを含むコンデンサ、変圧器、安定器について廃棄物の処理および清掃に関する法律の基準に沿って適正に保管・管理をしています。また、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管および処分状況等届出書」により報告をしています。

### PRTR法への対応

届出を行っているPRTR対象物質の2019年度の排出量、移動量は次の通りです。

単位：t/年

番号 化学物質名	309 ニッケル 化合物	374 ふっ化水素及び その水溶性塩	405 ほう素 化合物	412 マンガン及び その化合物
取扱量	5.49	3.50	3.31	1.30
排出量	大気	—	0.07	—
	水域	0.78	—	2.35
	土壌	—	—	—
使用量	5.49	3.50	3.31	1.30

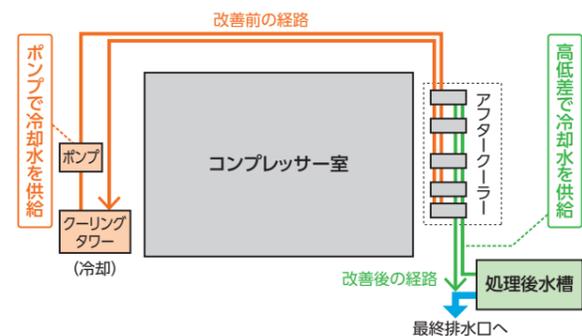
※ 下水道および当該事業所の外への移動量はありませんでした。

## 地球温暖化防止

### 省エネルギー活動

#### 実績 1 圧縮エアーのアフタークーラー冷却水設備見直しによる省エネ改善

千葉事業所内では、5台のコンプレッサーで圧縮エアーを供給していますが、高温で水分濃度が上昇した圧縮エアーのままではドレン水が多量に発生して生産設備に悪影響を与えるため、圧縮直後のエアーをアフタークーラー(熱交換器)に通して水分を除去していました。しかし、使用する冷却水の循環や水温維持で多量の電力を消費していたため、アフタークーラーに隣接する処理後水槽(東京湾へ放流している排水貯槽)の水を冷却水として再利用し、水的高低差を利用してポンプを使わずに通水する方式へと改善し、消費電力をゼロにすることができました。



#### VOICE 磯川 大輔

不二ライトメタル 東技術G

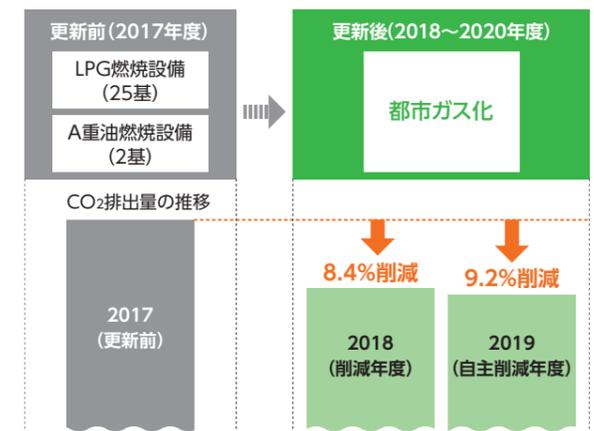
冷却水の供給方法を問わず、アフタークーラー内部の配管が詰まると圧縮エアーに含まれる水分の除去能力が大きく下がってしまうため、毎週のメンテナンスを欠かさず行い除去能力の維持に努めています。

#### 実績 2 燃料転換によるCO2排出量の削減

不二ライトメタル本社工場では、2017年度ASSET補助事業を活用し、燃料にLPGを使用する工程部分を都市ガスへと転換し、補助事業で定める期間(2018・19年度)におけるCO2排出削減目標を達成しました。

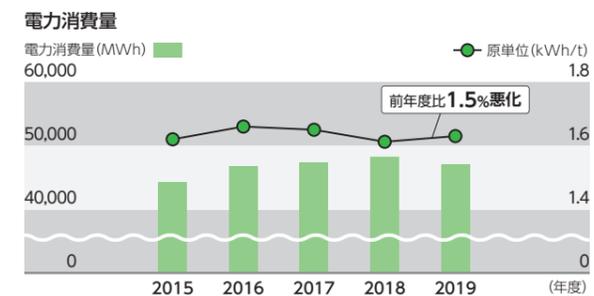
本件ではCO2排出削減に加え、LPG製造施設が不要になったことによる省スペース化や維持管理費の削減を実現し、省エネだけでなく費用面の合理化も図ることができました。供給パイプラインの新設や設備の更新・改造をはじめ、補助事業申請を自社対応としたことで、現状把握から仕様選定、申請書類作成等に至るまで時間を要しましたが、事務部門、工場部門の協力により一体となって完工しました。この取り組みが、社員全体の省エネや環境改善への意識向上につながればと考えています。

2020年5月には、完全都市ガス化に向けアルミ溶解炉(A重油)の転換も完工しました。今後は、各工場・設備毎の最適稼働および設備性能維持に努め、更なる改善を進めていきます。



### 電力消費量の推移

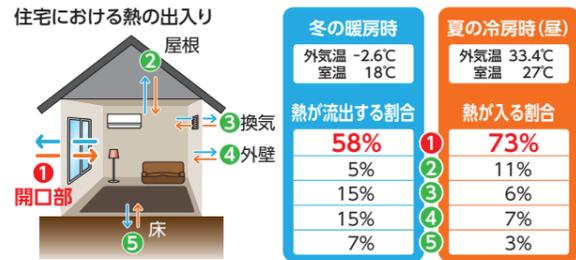
原単位=生産量(押出+電解)当りの電力消費量(kWh/t)を、前年度比で1.0%改善することを目標とし、生産工程のスリム化を進めましたが、2019年度の実績は前年度より1.5%悪化しました。電力消費量は、46,980MWhとなり、前年度比で2.6%削減しています。



CO<sub>2</sub>排出量の削減

実績 1 断熱サッシ販売による効果

暖房がついているのに窓に近づくヒンヤリと感ずることがあります。これは「窓」が熱の出入り口となっているからです。住宅において、冬は暖房した熱が約58%も窓から逃げ、夏は外の熱気が約73%も窓から侵入すると言われています。そのため断熱性能の高い窓を使用することによって熱を室内へ入りにくく、室外へは逃げにくくすれば、冷暖房効果が高まり、夏の冷房および冬の暖房で消費するエネルギーを削減することができ、CO<sub>2</sub>排出量削減につながります。



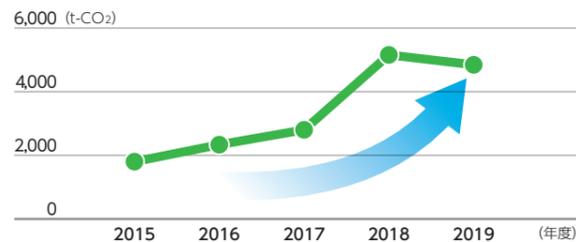
出典：一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会  
省エネルギー建材普及促進センター

当社では長年、断熱性能を高めたサッシ商品を開発・販売することで、ビルや住宅における冷暖房のエネルギー消費によるCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献してきました。

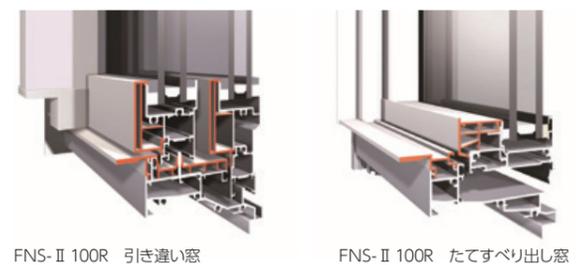
2005年に販売開始した次世代型高断熱サッシFNS-70シリーズ「Super70P・H・F」以降、新たに開発した断熱サッシ商品の2019年度販売量により見込まれるCO<sub>2</sub>排出削減量は4,851t-CO<sub>2</sub>\*となっています。

今後も地球温暖化やエネルギー消費量増加に対する取り組みに貢献できる商品開発を推し進めていきます。

断熱サッシ販売実績にともなうCO<sub>2</sub>削減量



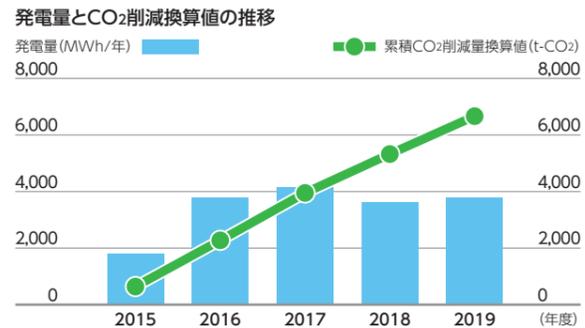
\* 単板硝子 (U=6.494W/m<sup>2</sup>・K) に対して当該商品を使用した場合の効果。  
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構発行「断熱部材のLCCO<sub>2</sub>評価・算定法の標準化調査」成果報告書より算出



実績 2 再生可能エネルギー創出による削減

CO<sub>2</sub>排出量削減への貢献度をさらに高めるため、2015年度より千葉工場第一発電所、2016年度より千葉工場第二発電所および関西不二サッシ発電所を導入し、メガソーラーによる再生可能エネルギーの創出を行っています。

2019年度の発電量は3基合計で3,800MWh/年、CO<sub>2</sub>削減量換算値\*は1,343t-CO<sub>2</sub>となりました。また、稼働開始から2019年度までの累積発電量は16.8GWh、CO<sub>2</sub>削減量換算値は6,667t-CO<sub>2</sub>となりました。

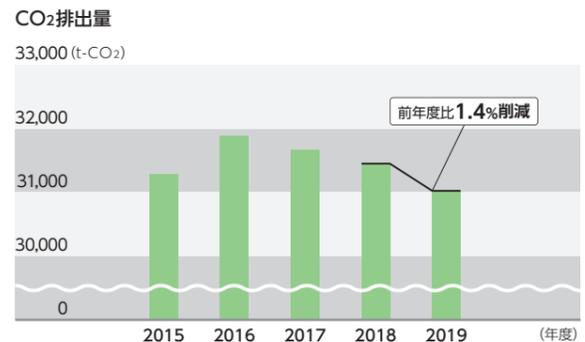


\* 東京電力・関西電力公表のCO<sub>2</sub>排出係数と、太陽光発電システムCO<sub>2</sub>排出係数(47g-CO<sub>2</sub>/kWhと仮定)を使用



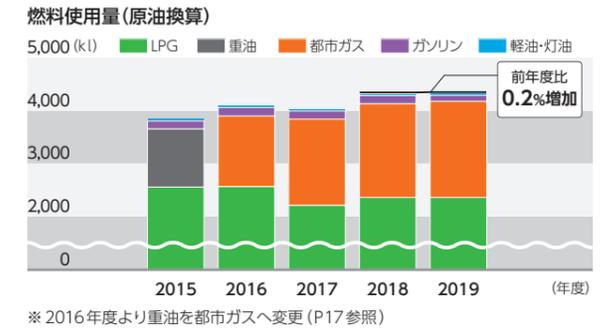
CO<sub>2</sub>排出量の推移

CO<sub>2</sub>排出量削減のため、コンプレッサーのインバータ化および容量削減、空調機の設定温度(夏28℃、冬20℃)の徹底、照明設備のLED化等の省エネルギー活動の推進に努めています。2019年度のCO<sub>2</sub>排出量は31,028t-CO<sub>2</sub>/年と、前年度比で1.4%削減しました。



燃料使用量の削減

生産段階で用いられるLPG、都市ガス、ガソリンを代表とする燃料の2019年度使用量は、原油換算値で4,323klとなり、前年度比で0.2%増加しました。



\* 2016年度より重油を都市ガスへ変更(P17参照)

環境会計・マテリアルフロー

2019年度の環境会計

分類	主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2018年度	2019年度	2018年度	2019年度
公害防止コスト	燃焼ガス処理施設、排水処理施設、監視施設	47,127	51,609	82,021	83,131
地球環境保全コスト	照明のLED化、省エネルギー等	436	5,144	26,654	33,403
資源循環コスト	廃棄物処理等	1,750	0	91,066	67,929
管理活動コスト	環境マネジメント、事業所緑地整備等	0	2,150	44,136	47,869
社会活動コスト	工場見学、地域清掃活動等	0	0	6,140	5,960
合計		49,313	58,903	250,017	238,068

【集計範囲】不二サッシ(株) 千葉事業所 \* 環境保全に資する製品等の研究開発コストなどは含んでいません。

エネルギー使用量内訳

エネルギー	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
電気 (MWh)	46,816	47,341	48,258	46,980
LPG (t)	1,959	1,690	1,804	1,864
都市ガス (千m <sup>3</sup> )	1,148	1,400	1,522	1,564
ガソリン (kl)	179	174	173	114
軽油 (kl)	26	28	25	23
灯油 (kl)	8	0.5	5.1	6.6
環境負荷総量* (t-CO <sub>2</sub> )	31,885	31,667	31,454	31,028

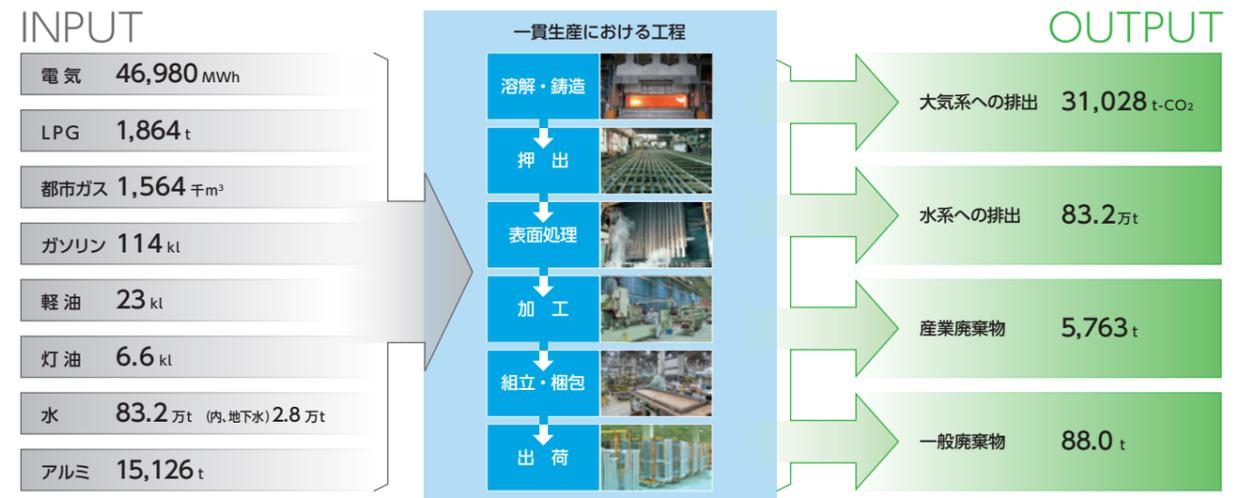
【集計範囲】不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要4サイト(本社、東京、千葉、関西)  
\* 2019年度にCO<sub>2</sub>換算の計算式を見直したため前年度までと数値が異なります。

環境負荷削減量 (CO<sub>2</sub>換算)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
環境保全未対策時の環境負荷総量	31,781	31,921	33,326	32,020
環境負荷総量	31,885	31,667	31,454	31,028
環境負荷削減量	-104	253	1,871	992

【集計範囲】不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要4サイト(本社、東京、千葉、関西)  
\* 環境保全未対策時の環境負荷総量：2002年度の原単位(2,116.9t-CO<sub>2</sub>/千t)×当該年度の押出生産量(千t)  
\* (-)の付いた値は増加を示しています。

マテリアルフロー



## 製品品質・安全への取り組み

### 不二サッシグループ 品質保証体制

#### 基本方針

コンプライアンス経営に基づいた安心、安全で地球環境に優しい商品づくりを通して、グループ全体で顧客満足に徹し、会社業績の貢献に向け邁進する。

### 不二サッシグループ 製品安全行動指針

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいきます。

WEB 詳細は【トップ>企業情報>製品安全行動指針】

## 2019年度活動実績

### 品質管理活動報告

#### ISO9001・JIS取得状況

不二サッシグループでは、各生産拠点でISO9001およびJISマーク表示制度を取得するとともに、それに則った品質マネジメントシステムを構築し、グループ全体で品質活動の取り組みを強化し、品質レベルの維持向上を図っています。

#### 取得工場一覧

●：2015年度版への期限内移行完了

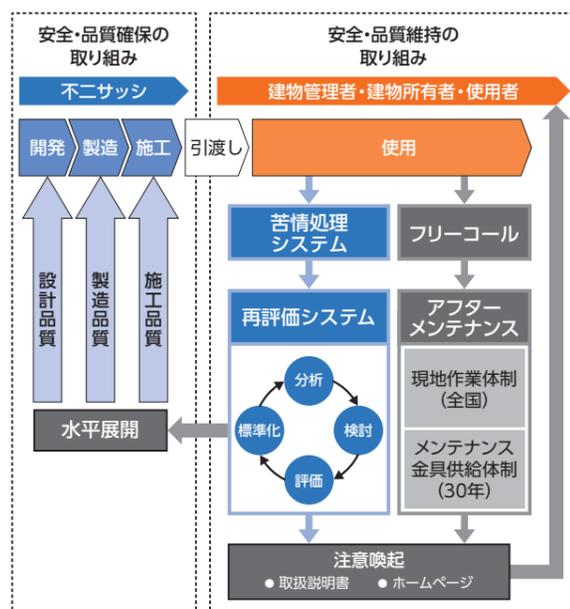
取得者/製造工場	ISO9001	JISマーク表示制度
不二サッシ(株)	●	○
千葉工場	●	○
技術本部	●	○
グループ会社		
北海道不二サッシ(株)	●	○
しらたか不二サッシ(株)	○	○
不二サッシリニューアル(株)	●	○
日海不二サッシ(株)	●	○
関西不二サッシ(株)	●	○
(株)不二サッシ九州	●	○
(株)沖繩不二サッシ	○	○
FUJISASH PHILIPPINES, INC.	○	○
不二ライトメタル(株)	●	○
本社工場	●	○
東日本事業部	●	○

中央規格委員会(5月)、品質管理委員会(四半期)の開催を通じて、品質情報、改善情報を共有し、FSK規格等の品質基準策定につなげました。また、不二サッシ版品質マニュアルに基づく、グループ内の品質マネジメントシステム(QMS)の2015年版への移行状況を確認しました。

### CS推進活動報告

#### 苦情処理対応

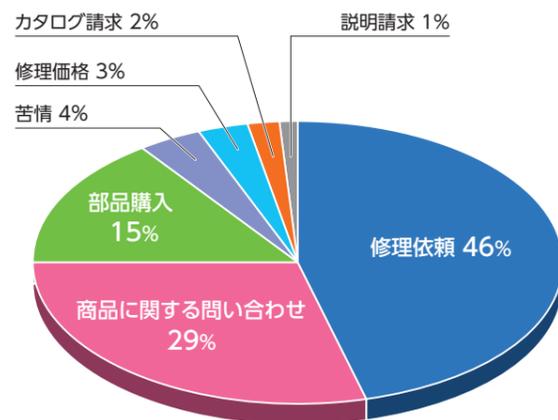
お客様からの苦情・クレームは担当拠点(支店、営業部門)が受け付け、調査、対策を協議し、対応します。苦情・クレーム対応の情報は、苦情処理システムで品質保証部が受け付け、改善が必要な事象については、「再評価システム」で分析、検討、標準化を行ない恒久対策を講じます。これらの情報や対策は、各部門の情報ツールを通じて水平展開し、再発防止につなげています。また、新商品を開発する際の確認項目として用いられています。



#### お客様相談窓口

お客様からのフリーダイヤルで商品問い合わせ、修理部品の購入、メンテナンス依頼に関する問い合わせが寄せられた場合、迅速な対応をするため、在住エリアを認識し、直接、担当地域の窓口につながるシステムを採用しています。

#### 2019年度「お客様相談窓口」受付内容の内訳



### 商品を正しくご使用いただくための情報掲載

商品を正しく安全にお使いいただくための情報や、いつまでも美しく商品をお使いいただくための情報をホームページに掲載しています。

#### WEB お客様サポート

<https://www.fujisash.co.jp/hp/support/>



### 台風や暴風雨時の備えについて

#### 台風への備えについてのお問い合わせ

##### 台風や暴風雨時の備えについて

台風による暴風雨時で、窓やドアが壊れて破損・落下や、大雨による漏水などの大きな事故につながる可能性があります。大切なお住まいを守るため、窓やドアへの備えをお願いいたします。

- 窓や網戸のはずれ止めを確認してください。
- 窓やドアをロックしてください。
- ねじがゆるんでいないか確認してください。
- 窓周辺に濡れて固まるものは置かないでください。

参考

[お住まいの窓やドアへの台風や暴風雨時の備え](#) (一般社団法人 日本サッシ協会)

### 新型コロナウイルス感染症対策における

#### サッシの消毒に関するお願い

##### 新型コロナウイルス感染症対策におけるサッシの消毒に関するお願い

##### ドアの取っ手やサッシの引手などの消毒について

厚生労働省ホームページで推奨されている消毒で「家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)」、「アルコール成分を含む消毒液」の扱いについては、下記の注意事項をご参照ください。

なお、日本サッシ協会は清掃時のクリーニングには中性洗剤を推奨しております。

- ドアの取っ手やサッシの引手などの消毒には、市販の家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)を薄めてご使用ください。薄めた漂白剤で消毒した後は漂白剤の成分が残らないよう必ず清潔な布や紙で拭き取ってください。漂白剤が乾いたまま長時間放置すると、変色や錆が発生するおそれがあります。漂白剤が乾かないうちに必ず拭き取ってください。
- 消毒する箇所以外に漂白剤が飛散することを防ぐため、スプレーは使用しないで布や紙を使用して消毒してください。
- 漂白剤に記載されている使用上の注意事項をよく確認いただきご使用ください。

##### 家庭用塩素系漂白剤での消毒液のつくり方

[家庭用塩素系漂白剤での消毒液のつくり方](#) (厚生労働省ホームページより)

- サッシ、ドア表面の消毒として、アルコール成分を含む消毒液は絶対に使用しないでください。
- アルコール成分を含む消毒液は有機溶剤ですので、サッシやドアの塗装面や樹脂を溶かしたり、落けて変色するおそれがあります。

### 商品取扱説明書に動画を引用

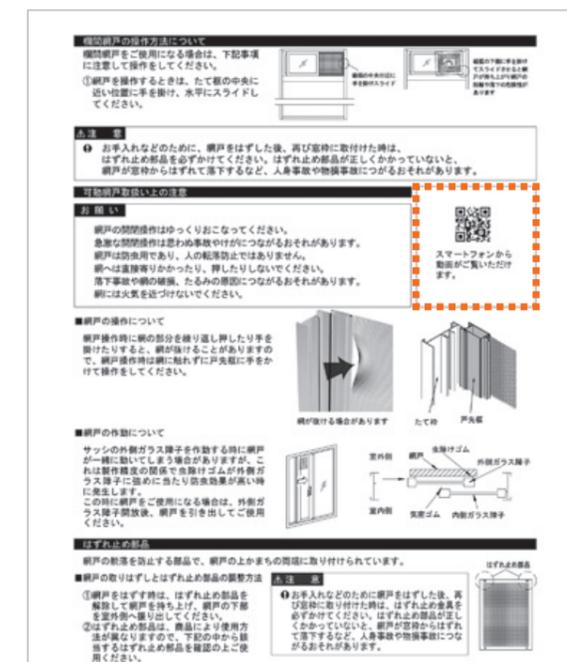
2020年度



WEB <https://www.youtube.com/watch?v=AZEngYvUmTk>



オプション部品「開口制限ストッパー」の取扱動画



WEB [https://www.youtube.com/watch?v=\\_R\\_pQMUq0Ps](https://www.youtube.com/watch?v=_R_pQMUq0Ps)



「網戸の取り外しと取り付け」の取扱説明動画

## 不二サッシグループ各社の活動

### 地域学生を対象とした工場見学、職場体験受入れ

#### 不二サッシ千葉工場

不二サッシは「100年企業」を見据え、将来活躍が期待される人材の育成に力を入れています。当社と市原市は工場設立後50年以上の縁があり、従業員も約7割が市内在住です。そのため、少しでも地域のお役に立てればという思いで学生たちの工場見学、職場体験を受入れてきました。こうした取り組みが「地域学生の育成に貢献」していると、地元市原市の広報誌「広報いちほら」に掲載されました。今後、少子高齢化が進み業界としても人材の確保が難しくなります。そうした中、私たちがものづくりの楽しさを伝えることで、一人でも多くものづくり産業に興味を持ってもらえればと考えています。見学した子どもたちからは「将来ここで働きたい」といった感想も届いています。業界や地域の活性化につながるように、今後も活動を続けていきます。



中学生の工場体験の様子



小学生の工場見学

高校生の工場見学

#### VOICE



#### 鈴木 幸司

不二サッシ(株) 千葉工場 総務部総務G

子どもたちの受入れは毎年の恒例行事となっていますが、社会経験がなく、先入観のない子どもたちからの疑問や指摘は思いがけない改善を生む可能性があり、これまでのやり方を見直す良い機会になっています。

また、子どもたちを迎えるにあたり、職場の3S(整理・整頓・清掃)活動はもちろんのこと、子どもたちにとって危険な場所がないか普段とは違う目線で職場の安全確認をするなど、社内の活性化を図るきっかけにもなっています。

今年は新型コロナウイルスの影響で受入れができない状況が続いていますが、一刻も早く再開できることを願っています。

### 普通救命講習会の実施

#### 不二サッシ千葉工場

不二サッシ千葉事業所では月に1回、千葉事業所で働くすべての従業員を対象にした普通救命講習会を開催しています。突然目の前で人が倒れてしまった…そんな不測の事態に誰もができる応急手当(救命処置)の方法を学ぶもので、応急手当普及員の資格を持つ6名が講師を務めています。この実績が認められ、2020年1月5日の市原市消防出初式では感謝状をいただきました。今回の表彰により普通救命講習会の存在を広く知っていただき、「救命」というものを皆様のより身近な存在としていただけたら嬉しい限りです。



講師を務める有資格者の皆さん

市原市消防出初式での表彰の様子

### 献血活動

不二サッシグループでは、従業員等を対象にした献血活動を毎年実施し、血液不足の現状を解消するため、日本赤十字社に協力しています。

不二サッシ千葉事業所は、毎年の献血を18年継続しているグループ内において最も取り組みが盛んな拠点です。2019年度は繁忙期と重なったため採血協力者の募集に苦労しましたが、5月・8月・2月に実施し、各回とも50名前後の協力が得られました。

しらか不二サッシでは、社内のみならず一般にも開放して献血活動への協力を呼びかけています。2019年度は6月に実施し、近隣の企業の方にもご参加いただき約20名から採血が行われました。

また、不二サッシ東北郡山営業所では、少ない従業員数ですが他社主催および郡山市主催の献血活動に参加させていただきました。

一人ひとりのできることは決して大きくありませんが、一方で、献血は一人の命を救うことに直接的につながります。今後も地道に活動を継続し、人命救助の一翼を少しでも担っていきたくと思います。

### 清掃活動

不二サッシグループでは毎年、各事業所の周辺や河川敷、公園等の清掃活動を行っています。事業所単独の活動だけでなく、他団体の取り組みや地域のボランティアイベントに参加することで、単独ではできない場所・規模で地域貢献を果たすことにつながっています。

一口に清掃と言っても場所が異なれば印象も変わります。大和駅(神奈川県)周辺で最も目についたのは煙草の吸殻でした。清掃活動に参加した社員からは、自身のマナーの振り返りや社会のマナー向上の重要性を意識する機会になったとの意見がありました。一方で、猪苗代湖(福島県)の清掃活動では、足場が悪く作業に苦労したという声がありました。作業が大変になるほどゴミの回収効率は落ち、清掃に取り組む人も集まりにくくなります。このように、ひとたび環境中に放出された廃棄物は回収が難しくなるため、廃棄物対策は発生を抑制し、正しく収集・処理することが効果的であると体感する機会となりました。

また、毎年参加している広瀬川(宮城県)河川敷の清掃活動「広瀬川1万人プロジェクト」では、前年よりもゴミの量が減ったように見え、これまでの活動の成果を感じることができました。

早朝や夏の暑い中、年末の忙しい中での活動もありましたが、近隣住人の方から感謝の声をかけていただけたこともあり、地域とのつながりが感じられ大変励みになりました。今後も活動を継続し、地域に貢献できるよう努めていきます。

#### VOICE 田路 大祐 関西不二サッシ(株)

従業員が通勤に使用している道路を、みんなで清掃しました。近隣の方から感謝され、とても励みになりました。今後も清掃活動を続けていきます。



#### 2019年度の主な清掃活動

不二サッシ	毎週	千葉事業所および千葉寮周辺
	9月	広瀬川の河川敷(広瀬川1万人プロジェクト)
	4月、6月	猪苗代湖(福島県生活環境部主催)
	5月	郡山駅(清水建設様主催)
不二サッシ東北	4月、10月	米沢市内の河川敷
	7月	白鷹町内の福祉施設敷地内
	10月	山形市内の公園と河川敷
	4~10月の各月	地域主催の清掃活動
しらか不二サッシ	5月	事業所周辺の歩道・側溝
協同建工	11月	大和駅前クリーン活動((一財)大和建設協会)
山口不二サッシ	4月、10月	事業所周辺の道沿い
不二ライトメタル	毎月・年末最終日	本社近辺の定期ボランティア
関西不二サッシ	毎週2回	事業所周辺

### 不二ライトメタル(株)設立50周年

2019年10月25日、不二ライトメタル(株)は設立50周年を迎えました。

1969年に「九州不二サッシ」の社名で設立、不二サッシグループの住宅用・ビル用サッシの西日本生産拠点として、また熊本県有明地区の誘致企業第1号として産声を上げました。当初はサッシの生産機能のみの工場でしたが、世の中の変化に対応するため、営業部門の新設や素材・技術の開発、新たな分野への取り組みなどにより「窓から夢を」広げられました。そして2007年、不二サッシ(株)資材事業部と統合して「不二ライトメタル(株)」が誕生しました。社名変更の背景には、次世代を見据えたマグネシウム研究開発の進展もありました。産学官連携事業として多くの支援を得て、現在では新幹線部材、独自合金を使った医療用製品などへと開発分野を広げています。

50周年記念行事に先駆けて開催した工場の「家族見学会」には、多くの従業員のご家族に参加いただきました。各工場では現場担当者が説明を行い、特に子どもたちにとっては、お父さんやお母さんが日ごろ働いている職場を見る貴重な体験になったようです。また創立記念日当日には、「記念式典」を行い、午後からは司ロイヤルホテル(玉名市)にて、来賓や当社協力会、従業員OBであるシニアクラブの皆様などを招待した「50周年記念式典ならびに記念祝賀会」を開催しました。

今後とも、原点を忘れることなく、当社の強みを生かして様々なことに挑戦し、お客様・社会に貢献する企業を目指してまいります。皆様からの、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



工場の「家族見学会」の様子



TOPICS

しが障害者施設応援企業

社会福祉法人メイプルは、障がい者の就労継続支援を行う事業場として1995年、滋賀県に誕生しました。設立当初から不二サッシ大阪工場(現・関西不二サッシ)の技術指導を受け、面格子、ガラリといった建材製品を製造しています。現在、男女9名の障がいのある方々が不二サッシの社員として勤務しています。これからも、不二サッシは、メイプルとともに障がいのある方々の活躍を支援していきます。

働き方改革

2020年度

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、従来は限定的に実施していた「在宅勤務」の対象者を拡大しました。また、首都圏を中心に公共交通機関の混雑緩和のための「時差出勤」や、通常勤務する場所以外の会議室も執務場所とすることで勤務場所を分散するなど、「3密」を避ける取り組みを継続して実施しております。仕事をやる環境の整備や仕事の仕方を工夫しながら、全社一丸となり感染拡大防止に努めると同時に働き方自体を見直すことに取り組んでいます。



「3密」を避ける執務場所

2020TDM推進プロジェクト

2020年度



不二サッシは、東京都の呼びかけに応じ「2020TDM推進プロジェクト」に協力します。テレワーク・時差出勤の推進や、配送時間・ルートの変更など、交通混雑緩和に向けた「スムーズビズ」に取り組んでいます。

社内インターンシップ制度

2017年に発足した女性活躍推進プロジェクトで提案され、2018年7月より運用開始した「社内インターンシップ制度」を従業員の能力開発やキャリア形成に役立てています。

VOICE 田口 夏波 不二サッシ(株) 東京支店

2019年9月から1年間、社内インターンシップ制度を利用して総務人事部で研修を受けました。総務人事部を希望した理由は、入社以来ライン業務の経験がなかったため、会社全体が分かる部署に所属して視野を広めたいとの思いと、女性活躍推進プロジェクトで提案した「社内インターンシップ制度」を利用しやすい制度に改定して、社内の多くの人に活用してもらいたいと考えたからです。



研修内容は、新卒の採用活動や各種研修への企画参加、社内インターンシップ制度改定のための資料作成や提案などの業務が主でした。中でも新卒採用の一次面接を担当したことは貴重な経験となりました。また制度改定のために行った、社内各部署や社外へのヒアリングは、今までの業務内容とはまったく異なり、新鮮で刺激を受けました。最初は、社歴が長く、またG長の立場での研修に迷いもありましたが、今だからできたこと、感じたこと、吸収できたことがたくさんあり、参加できたことに感謝しています。ぜひ皆さんも性別や年齢に関係なく「社内インターンシップ制度」を利用し、今後のキャリアに活かしていただければと思います。

VOICE 山本 夏美 不二サッシ(株) 開発営業統括部

2019年4月から週2日、1年にわたり営業設計部への社内インターンシップ制度を利用しました。この制度は2017年度に参加していた女性活躍推進プロジェクトから誕生したのですが、発足当時から私自身も利用したいという気持ちを持っていました。実現したことを嬉しく思うと同時に、所属部署と受入部署、双方の理解があってこそその1年間でした。



所属している開発営業統括部とつながりの深い部署での設計研修は大変勉強になりました。日数にすると実質約3カ月ですが、通常業務と平行しての制度利用だったため研修で学んだことを反復する機会も多く、知識の定着につながったと感じています。研修では主にAUTO CADの基本操作、サッシの強度計算、参考図の作図を行いました。私は自身のスキルアップのために利用しましたが、自分の適性を確認したり、働き方の選択肢を広げるといっても活用できる制度だと思います。男女問わず興味のある方は、ぜひ利用して欲しいと思います。

人権の尊重

人権に対する基本的な考え方

不二サッシ行動規範の一つ「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」は、全社員が一致協力して、お互いに尊重し合い、認め合い、持てる能力を最大限に発揮する社風を築いていくことを示しています。不二サッシは、働きがいのある、ハラスメントのない職場環境づくりを目指しています。



ソフトボール大会

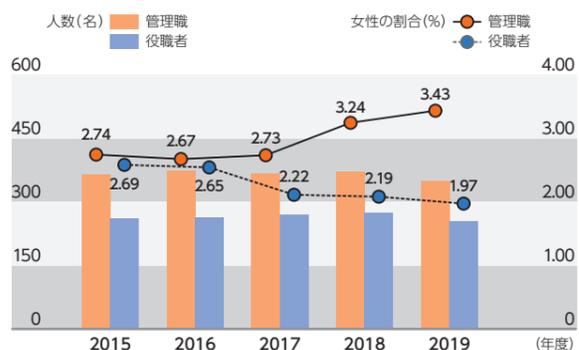
女性活躍の推進

女性活躍推進法「一般事業主行動計画」策定

女性従業員の個性と能力が十分に発揮できる働く環境整備を行うため、行動計画を策定しました。

1. 計画期間  
2016年(平成28年)4月1日から  
2021年(令和3年)3月31日
2. 当社の課題  
(1) 女性の採用数が少ない(特に専門職種)  
(2) 正社員と同等の業務を担っている非正社員の雇用環境改善が進んでいない
3. 計画内容  
目標1 採用者に占める女性割合を30%以上とする  
(取組内容)  
● 求職者に対する積極的な広報(特に専門職種)  
● 育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した社員に対する再雇用制度の導入・利用促進  
目標2 非正社員の職種・雇用形態の転換を実施する  
(取組内容)  
● 非正社員の処遇を見直す  
● 非正社員を対象とした職種・雇用転換を促進する

管理職・役職者に占める女性の割合

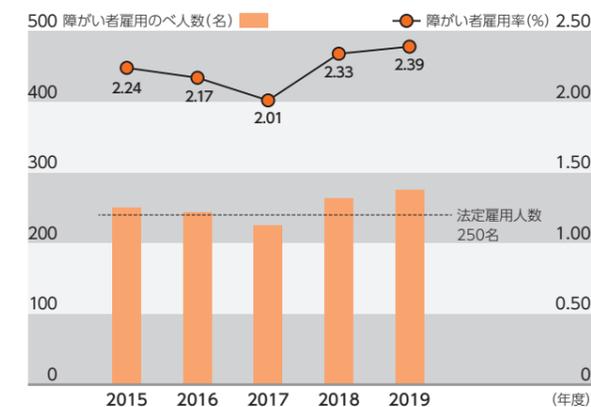


障がい者雇用

不二サッシは、社会的責務を果たすため、社会福祉法人メイプルの運営などを通じて、障がい者の就業促進に努めています。障がい者の雇用は、障がいのある方が障がいのない方とともに一般企業においてごく自然に働けるという「ノーマライゼーション」の理念に基づいています。

不二サッシは、コンプライアンスの観点からも、また、企業の社会的責任を果たすという観点からも障がいのある方の活躍に向け全社をあげて取り組んでいきます。

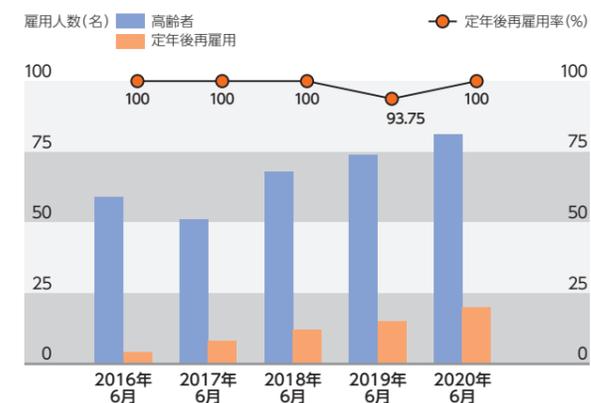
障がい者雇用実績



高齢者の再雇用

高齢者雇用は、少子高齢化が急速に進展し、人口減少に伴う労働力不足という中長期的な視点からも重要な課題です。不二サッシは、定年後も継続して勤務できる再雇用制度を導入し、就業機会を確保するとともに、それぞれの経験と知識を活かし活躍する環境を整えています。

高齢者雇用と定年後再雇用の実績



## 人材育成

### 人材に対する基本的な考え方

不二サッシは、企業発展の原動力は優秀な社員であるとの認識に立ち、次の目的に沿って教育訓練を行います。

- ① 会社の経営理念および経営方針に則り、会社の発展に貢献し、仕事に生きがいを持つ創造的な社員の育成を図る。
- ② 経営および会社をとりまく社会情勢や技術革新の進展に伴って要求される能力要件が変化しても、それに対応できるような応変能力のある社員の育成を図る。

- 教育訓練の種類 ① 階層別集合研修 ② 職場研修 (OJT)  
③ 自己啓発支援研修 ④ 海外語学研修教育



2019年度新規管理職研修



2019年度新入社員研修

### 教育・キャリア支援

社員の自己啓発意欲を喚起し、それを促進する目的で通信教育の紹介や受講料の援助をしています。また、公的資格取得者には毎月手当を支給しています。

通信教育受講者数の推移 単位：名

分類	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
階層別	54	42	47	35
自己啓発	13	15	11	9
部門長推薦	27	20	33	42
全体	94	77	91	86

### 適材適所の人材配置

年1回、従業員自らの考え(業務を行う上での自己評価、職場について感じていること、自らのキャリア形成・能力開発のために今後やってみたい職務等)を自己申告書に記録し、それをもとに職場の上司と話し合う制度を設けています。自己申告書は、従業員の適正配置、能力開発、教育指導等の参考にします。

### 公正公平な人事制度

職能資格制度に基づいて従業員の能力、成果、意欲を公正に評価することが、各人の能力、資質と士気を向上させ、適正な人事上の処遇(異動、配置、昇格、昇給、賞とおよび教育訓練等)につながります。

### グローバル人材の育成

不二サッシフィリピン社(フィリピン共和国)にある「不二サッシ設計センター」の現地従業員は、日本国内において設計研修を行いスキルの向上に努めています。また、優秀な現地従業員を、不二サッシに転籍させ日本国内の事業場においてともに働く環境を整備しています。

## ワークライフバランス

### 介護支援

年次有給休暇の全てを半日ずつ使うことができます。また、2年経過すると消えてしまう年次有給休暇を「有給休暇積立制度」として、さらに1年間使うことができます。

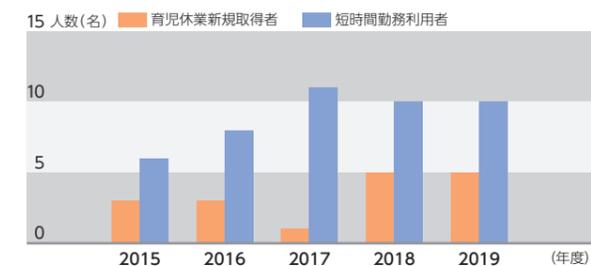
### 柔軟な勤務制度

職種によって在宅勤務を認めネットを通じ相互の連絡や会議への参加等を実施しています。個人の事情に応じた働き方を実現する環境づくりに取り組んでいます。

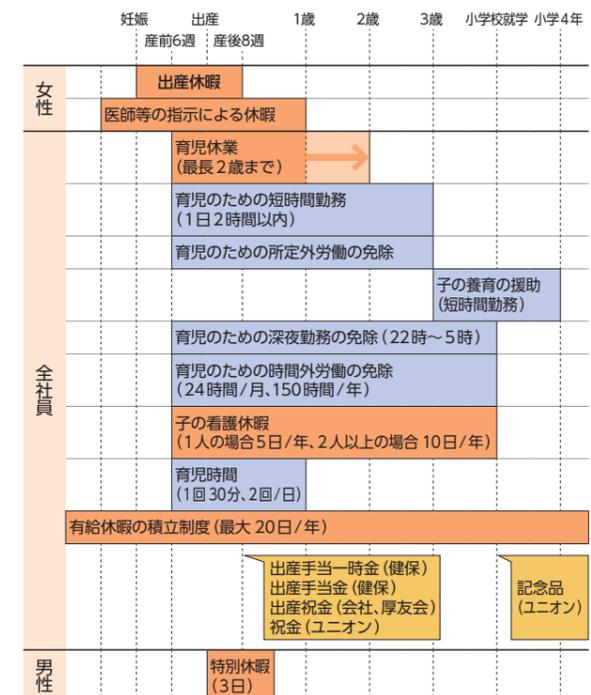
### 仕事と育児の両立

育児休業期間が終了し、職場復帰後も、小学校第3学年が卒業するまでの間、短時間勤務ができる育児を援助する制度を導入しています。

育児支援制度利用者数の推移



育児に関する人事制度



## 労働安全衛生

### 労働安全衛生に対する基本的な考え方

「安全衛生は全てに優先する。安全衛生なくして生産性、品質の向上無し」という、トップの決意のもと、決めたことは守り、守らせて、不安全状態、不安全行動を完全に排除する職場づくりをすることを安全衛生管理の基本方針としています。

### 従業員の健康増進

不二サッシは不二サッシ健康保険組合と協同で、毎年実施する特定検診(定期健康診断)や特定保健指導等によって、従業員の健康状況を把握し、疾病の早期発見と予防のための適切な管理を行っています。

なかでも、日本人の2人に1人が「がん」になると言われている「がん」対策として、早期発見、早期治療のため「人間ドック」「乳がん検診」「前立腺検査(PSA)」の受診補助を実施しています。また、健康診断結果をもとに、再受診の勧奨や特定保健指導などのフォローを行っています。

2019年度の受診状況 単位：名

分類	対象者数	受診者数	受診率
前立腺検査(PSA)(45歳、50歳以上)	374	349	93.32%
乳がん検診	173	15	57.80%
子宮がん検診	214	20	40.65%

※ 被扶養者を含む

人間ドック補助利用者	本人 36	家族 5
被扶養者健康診断	主婦検診 119	事業所検診 22

### 令和元年度労働安全優良事業場「優良賞」を受賞

不二サッシ千葉工場は、一般社団法人日本アルミニウム協会の「令和元年度 労働安全優良事業場表彰」で「優良賞」を受賞しました。この表彰は、社員の「休業および不休業災害、直近3年間がゼロ」が条件で、日本アルミニウム協会安全委員会の推薦を受け、理事会で決定し贈られるもので、前年度に続き通算4回目の受賞となりました。今後も職場と従業員の安全・安心の確保のため、「安全朝礼」をはじめ「環境・安全パトロール」「安全衛生委員会」「安全衛生協議会」「衛生推進委員会」等の活動の継続、社員の意識向上に取り組み、「労働安全衛生規則第96条(火災及び爆発)の届出事故ゼロ」と「構内協力会社の休業および不休業災害がゼロ」も条件とする「特別優良賞」を目標としています。



## コーポレート・ガバナンス

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、当社グループ全体の企業価値の向上と強固な経営基盤の構築を通じて、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上並びに経営に対する監視・監督機能の強化に努めることで、ガバナンスの強化を図っています。

#### 基本原則1 株主の権利・平等性の確保

当社は、株主の権利確保、その適切な行使、および株主の平等性を確保するべく対応いたします。

#### 基本原則2 株主以外のステークホルダーとの適切な協働

当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の創出は、従業員・顧客・取引先・債権者・地域社会をはじめとする様々なステークホルダーによるリソースのご提供やご貢献の結果であることを十分に認識し、これらのステークホルダーとの適切な協働に努めてまいります。

#### 基本原則3 適切な情報開示と透明性の確保

当社は、株主や投資家等との建設的な対話が可能となるよう、会社の財政状態・経営成績等の財務情報のほか、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る情報等の非財務情報に関して、適宜解かりやすい情報提供に積極的に取り組んでいきます。

#### 基本原則4 取締役会の責務

取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図るため、独立した客観的な立場から、取締役および執行役員に対する実効性の高い監督を行います。

#### 基本原則5 株主との対話

当社は、株主との建設的な対話を促進するために、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指したビジョンを策定し、当社の経営方針を分かりやすい形で明確に説明し、株主の理解が得られるよう努めています。

### コーポレート・ガバナンス体制

当社は、会社法上の機関設計として、監査役会設置会社を選択しており、監査役会は、適法性、妥当性の面から取締役の職務執行状況の監査を行っています。

取締役会は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。当社では、監督機能の強化を図るべく社外取締役を選任しています。

また、執行役員制度を導入し、経営と業務執行を分離して機能・責任の明確化を図っています。社内の意思決定機関として、取締役、執行役員などで構成される経営会議を毎月1回以上開催し、意思決定の迅速化を図っています。

なお、社外取締役、社外監査役からは、四半期ごとに関係役員と意見交換会を実施し、社外役員の意見を取り入れる機会を設けガバナンス機能を強化しています。さらに年に1度、取締役および監査役に対して、取締役会に対するアンケートを実施し、取締役会の実効性に関する分析・評価を行い、経営上重要な事項の意思決定機関として機能していることを確認しています。

### 取締役会の実効性評価

当社は、取締役会が有効に機能しているかを検証するため、2019年度は各取締役による自己評価等を実施し、運営面の確保および審議の内容に関して分析しています。また、「意見交換会」において、独立社外取締役の適切な関与・助言を得て、取締役会のさらなる強化につなげています。

なお、2019年度において、当社取締役会は21回開催され、毎回、経営戦略や設備投資等の様々な経営課題、業務執行について活発な議論が行なわれており、取締役会全体の実効性が概ね確保されていると認識しています。

また、連結子会社での不適切な会計処理については、役員から以下の意見がありました。

#### (社外役員の意見)

関西不二サッシ(株)の不正会計を踏まえ、今やるべきことは取締役会に参加している全員がなぜ防げなかったのか深く反省し、原因究明、責任の所在等を徹底して行うことであり、株主、ステークホルダー、従業員に対し真摯に謝罪することが必要である。このようなことを二度と起こさせない体制づくりに向け全社一丸となって再スタートすることが必要だと感じている。

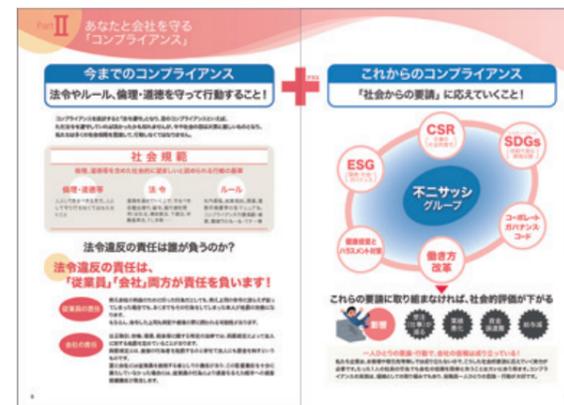
#### (社内役員の意見)

本件調査委員会の結果も踏まえ、内部統制の整備、運用評価基準を再構築し、監査部による報告に基づく運用状況を取締役会で監視し、問題点、課題の実態把握と改善に向けて協議を深掘していく。

## コンプライアンスの推進

### (1) 「不二サッシグループ コンプライアンスマニュアル Ver.2」発行

2019年7月、「コンプライアンスマニュアル Ver.2」を発行しました。今回は、より視覚的に捉えられるよう、カラー画像を多く採り入れ、聞きなれない言葉を解かりやすい表現にするなど、より身近にコンプライアンスを感じられるよう工夫しました。また、経営理念との関連性や、昨今、特に求められる「社会的責任、社会からの要請」についても記載しました。このマニュアルを活用して、コンプライアンスの啓蒙を図っていきます。



### (2) コンプライアンスセミナー

2019年度は7月に発行した、コンプライアンスマニュアルの説明を中心に、宮城、埼玉、山形、石川、千葉、東京、神奈川、大阪、奈良、愛知、福岡、沖縄の各拠点で、セミナーを開催しました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対応として、WEBを利用したオンラインでのセミナーの実施や、動画を利用したセミナーの視聴を実施しています。

### 連結子会社による不適切な会計処理について

2019年12月、当社連結子会社である関西不二サッシ(株)が、不適切な会計処理を行っていたことが判明しました。その後、調査委員会による本会計処理に係る事実関係の徹底した調査を行い、2020年3月、当社は再発防止策を公表し、推進しています。

コンプライアンス体制の強化については、子会社社長へのコンプライアンス教育を強化し、社内ルールの理解と遵守、適正な財務諸表の重要性を教育テーマに掲げ、意識向上を図るとともに、連結経営の重要性への理解促進を徹底します。2020年度は子会社社長会の開催や役員セミナーの受講による教育を実施しました。

今後、これらの各施策を実施し、グループの適切な情報開示と透明性を確保し、ガバナンスの強化を図っていきます。

ステークホルダーの皆様にご迷惑とご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

## ホットライン

当社では、法令違反や社内規定違反を相談する窓口として、内部通報制度である「企業倫理ホットライン」を設けています。社内報に「企業倫理ホットライン」の通報先を掲出するなど社内周知を行い、第三者機関の窓口を利用することで、通報者の保護と適正な処理を行い、問題の早期発見と解決を図っています。また、その運用・通報状況について定期的に取締役会に報告を行っています。

## ステークホルダーとのコミュニケーション

### 定時株主総会

2020年度

2020年6月26日、川崎日航ホテルにおいて「第39期定時株主総会」を開催しました。本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、マスクの着用や飛沫防止用のアクリル板の設置、席の間隔をあけるなど、様々な対策をとる中での開催となりました。

株主様には当日のご出席を控えていただくようお願いする一方で、従来の書面による議決権行使に加え、スマート行使（インターネットを利用した議決権行使）を新たに導入し、議決権行使の選択肢を増やすことで、より多くの株主様のご意見をいただき、より開かれた総会になるよう体制を整備しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、決算日程が半月近く遅延いたしました。招集通知および事業報告の一部をホームページにて速やかに開示するなど、情報の早期開示に努めました。



受付の様子

### 不二サッシ建材特約店会の全国総会開催

「2019年度不二サッシ建材特約店会全国総会」を建材特約店と販売会社、関係会社を含めて開催しました。

総会は吉田社長の挨拶で始まり、日本硝子建具（株）田村社長に特約店代表としてご挨拶をいただきました。続いて中低層・フロント事業部の方針と今年度の重点施策、商品開発の状況、個別防火設備の現状と開発予定、品質管理について、それぞれ説明を行いました。

「2018年度建材作品コンテスト」の表彰式も行われ、最優秀賞の（株）山下製作所をはじめ、入賞した17作品に対して吉田社長が表彰状と賞金を授与しました。また受賞された皆様には、苦労話や担当者の思い、協力をいただいた方へのお礼など、様々なコメントをいただきました。

総会終了後の懇親会では、ロイヤル装束（株）松本統括部長に中締めをしていただき、大盛況のうちに閉会しました。



特約店代表で挨拶する  
日本硝子建具（株）田村社長



最優秀賞受賞  
（株）山下製作所 山下社長

### 共済会との連携

#### 令和元年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」授賞

2019年10月11日、東京港区にあるメルパルクホールにて、不二サッシ工事共済会北海道支部会員である（有）鈴木サッシ工業の福田寿一さんが不二サッシ（株）の推薦により、厳しい審査をクリアし「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」を授賞しました。

「優秀施工者国土交通大臣顕彰」は、「国土交通省にて、建設産業の第一線で「ものづくり」に携わる方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、その社会的評価の向上を図ることを目的とし、現場での施工経験が20年以上で、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々が対象となります。1992年度より毎年新たな建設マスターが誕生しており、2018年度は全国で456名が選出されました。

1992年以降に不二サッシからの推薦で授賞された建設マスターは、今年度受賞者を加えて延べ14名となりました。



優秀施工者国土交通大臣顕彰  
令和元年10月11日  
（有）鈴木サッシ工業 福田寿一さん（前列）

## 第三者意見



日本マネジメント総合研究所合同会社  
理事長

戸村 智憲様

元・国連の専門官として、国連戦略立案業務専門官リーダー、内部監査業務、SDGs・ESG関連の実践指導・普及啓発などを担当。国連退官後、岡山大学大学院非常勤講師、経営行動科学学会理事、上場IT企業のアドバイザー、コーポレート・ガバナンス・アワード大賞選考委員長などを歴任。

元・国連の専門官としてSDGs・ESG関連の普及啓発・実践指導にあたり、上場各社の取締役などを指導する立場にあり、官公庁関連の有識者・監査専門委員などを担当してきた当職が、CSR全般に関する独立的・客観的な観点から第三者意見をご提供いたします。

なお、当該意見は、COVID-19の災禍において、SDGs目標3の医療面での感染症対策を最重視し、本年度は、昨年度の当職による第三者意見の提供における実地確認・ヒアリング等を経た当職指摘事項からの進捗、および、本年度の各種データなどで確認し得る範囲にて取りまとめしております。

#### SDGs・ESGへの漸進的・健全な取り組み姿勢

国連が漸進的に健全な取り組みを促すように、SDGsおよびESGなどCSR全般における対応は、実態と異なり優良な経営状態を装うといった、いわゆる「SDGsウォッシュ」として批判される取り組みではなく、透明性をもってあたるべきものです。

その観点から、不二サッシ株式会社は、SDGsおよびESGにおけるサプライチェーン全体での取り組み強化、人権擁護や生き方働き方の多様な推進やディーセントワークの促進などで、全体的に漸進的な良き取り組みが見て取れます。

また、どの企業も不祥事とは無縁ではない中で、問題に直面した際に、いかに正直に・正確に・正式に・適時適切に対応するかが、透明性や説明責任と併せてガバナンス強化などでも社会的要請として重要です。

隠蔽体質に陥る悪質な企業と異なり、トップメッセージだけでなくガバナンス強化面としても、子会社の不適切会計に

ついて記載しており、監査視点や不祥事対策の観点からも、非常に好感が持てる記載が見受けられます。

#### COVID-19対策および

#### 生命も人権も経営も大切にDX推進

SDGsもESGも、ともに源流は世界人権宣言および人権規約にあるように、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の災禍において、社内外でいかに生命・人権を守りつつ、経営上の生産性・効率性を高めるかが問われています。

その中で、SDGsおよびESGで強く求められる「本業を通じた社会問題解消アプローチ」に符合するように、これまで本業で培ってきた技術を活かし、飛沫感染対策プロダクトを世に送り出し、社内における感染症対策も堅実に取り組んできた姿勢が目につきます。

従来は限定的であった在宅勤務の積極的な推進や、出勤が必要な場合の時差出勤による混雑時の感染リスク低減策をはじめ、感染予防のためのいわゆる「3密」回避でソーシャル・ディスタンスを確保するなどにより、社内外で生命・人権の重要性に寄り添ってきたことが伺えます。

直接の顧客となる成人のみならず、成人と同じく人権ある子どもへの配慮も尽くされていることは、2020年8月の第14回キッズデザイン賞の受賞から読み取れます。

ニュー・ノーマル（新常态）な経営環境への適応においても、また、各種ステークホルダーの社会的要請への呼応としても、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の取り組みが加速していることは、経営上の生産性・効率性を高める上でも望ましい進展です。

#### さらなる取り組みへの期待

今後のより良い発展とさらなる社会貢献に向け、同社がさらなる期待を担うものとして、すでに目標値をクリアしてきたCO<sub>2</sub>排出削減において、カーボン・プライシングによる環境および経営上のインパクト評価を行い、より強力なCO<sub>2</sub>削減へ向かわれるとより良いと思われれます。

また、DX推進においては、1社の枠を超えサプライチェーン全体で、大きな節税効果も環境負荷低減なども生み出し得る、スマート・コントラクトやペーパーレス化なども含め、法務・経理関連においてもグループ内外でのDXの徹底した推進が、社内外において人と社会にやさしく健全に儲け続ける取り組みであり、より一層の強化が期待されます。

### 第三者意見を受けて

不二サッシ株式会社 総合企画部長 町田 仁

不二サッシグループのCSR報告書2020の発行にあたりまして、戸村様より貴重なご意見をいただき誠に有難うございます。SDGs・ESGへの取り組み姿勢や感染症対策等についてご評価いただけたこと、たいへん光栄に思います。また、ご指摘をいただきましたCO<sub>2</sub>削減やDX推進のさらなる強化につきましても課題として真摯に検討してまいります。

不二サッシグループは企業価値を高め、社会の持続的な発展に貢献していくため、今後もより一層の努力を重ねるとともに、より分かりやすいレポートの発行に取り組んでまいります。



**不二サッシ**

<https://www.fujisash.co.jp/>

## 不二サッシ株式会社

本 社 〒 212-0058

神奈川県川崎市幸区鹿島田 1 丁目 1 番 2 号 新川崎三井ビルディング  
TEL 044-520-0034

東京本部 〒 141-0031

東京都品川区西五反田 4 丁目 32 番 1 号  
TEL 03-6867-0770

内容に関するお問い合わせ先 .....

総合企画部 TEL:03-6867-0777 E-mail:customer@fujisash.net

**UD FONT**  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。